

## 167. 安易な気持ちで石鹼作りをしない方がよいと思う

技術戦略部調査役（土木・建築） 岩野多恵

10 年程前のことになりますが、オリーブオイルやアーモンドオイルなどを使った手作り石鹼がブームになったことがありました。私もブームに乗って作ったのですが、その後、多忙のために作れなくなり、石鹼作りに使う水酸化ナトリウム 300 グラム程が使い残されたままとなっていました。ある日、その水酸化ナトリウムを見ると、フレーク状であったものがいつの間にか固体と液体が混ざった状態になっていました。水酸化ナトリウムは強アルカリの劇物ですので、これをどうやって処分すればよいか困りました。

インターネットで水酸化ナトリウムの捨て方を検索すると、薄めて排水溝に流せばよいという書き込みがありましたが、水で薄める際に熱を発生して危険ですし、排水管が傷つくかもしれませんのでそんなことはできません。また、油汚れを落とすのに使えばよいとの書き込みもありましたが、危険ですし、激しい油汚れも家にはありませんでした。

処分方法としてまず考えたのは、食用油を買ってきて石鹼を作って使い切ることです。しかし、現状は固体と液体が混ざった状態ですので、反応せずに固まらなかった場合、その処分に困ることになるでしょう。次に考えたのは、塩酸を買ってきて中和させることです。しかし、水酸化ナトリウムをすべて中和させた後に塩酸が残り、その処分に困ることになるでしょう。考えているうちに、近所の川に投げ捨ててしまいたい気持ちに駆られました。不法投棄はいけません。

結局、自治体の窓口で相談して処理業者を紹介してもらい、購入価格よりずっと高いお金をお支払して処分していただきました。心からほっとし、二度と安易な気持ちで石鹼作りなどしないと心に誓いました。